

尊聞行知

～聞くことを尊び、知るところを行う～

<先輩方より…>



八段昇段にあたって

昭和61年度卒業 教士八段 城田雅幸

この度、令和元年11月の昇段審査におきまして、剣道八段に昇段することができました。これもひとえに、故近藤利雄先生、故伊保清次先生、林邦夫先生、堀山健治先生をはじめ中京大学剣道部の先輩方、同僚、後輩たちのおかげと心より感謝申し上げます。また、先般の剣友会功績表彰におきましては盛大な祝賀会を開いていただき、また過分なる記念品までいただき厚く御礼申し上げます。

八段審査初受審から17回目の挑戦で合格を頂きましたが、最初の1,2年はスピードと勢いだけで受審していました。審査を重ねるごとにそれが通用しなくなり、攻めること、引き出すこと、溜めることなどいろいろな課題が加わり、自分の剣道が分からなくなりました。練習量や、懸かる稽古は十分な環境でありましたが、なかなか思うようにいきませんでした。しかし、1年前に中京大学で行った林先生の八段受審者の練習会で、林先生に「今の剣道では1次は受かるが2次は無理だ」と言われ、合格に必要な指導を適切にさせていただきました。また、先輩方に懸かり、自分では気づかない部分の指導をたくさんしていただきました。それが、その後の練習に大いに役に立ち、今回の合格につながったのではないかと思います。八段合格までに長い年月がかかりましたが、たくさんの先生や諸先輩方のご指導やあたたかい激励のお言葉のおかげで剣道技術や精神面が向上したと感じております。本当にありがとうございました。

しかし、八段合格といっても、まだまだ技術的にも人間的にも未熟であります。感謝

の気持ちを忘れずに、これまで皆様から頂いたご恩に報いることができるように、これからも努力を重ね、中京大学剣道部卒業生としての名に恥じぬよう精進してまいりたいと思います。今後も、今まで以上のご指導、ご鞭撻のほどを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、中京大学剣道部、剣友会の益々の発展と皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げ、御礼の挨拶とさせていただきます。



全日本都道府県対抗剣道優勝大会に優勝して

平成26年度卒業 五段 伊藤 慎一郎

昨年4月29日に開催された第67回全日本都道府県対抗剣道優勝大会にて優勝することができたことは林先生、堀山先生をはじめ、諸先輩方、剣友と多くの方からのご指導あつてのことだと思っております。ありがとうございます。

私自身、全国大会で優勝をできるとは思っておらず、夢のような1日となりました。三重県大将の選手が代表者戦で勝利し、優勝が決まった瞬間はさまざまな感情が込み上げてきました。剣道を続けてきたことで、たくさんの方と出会い、さまざまな経験をさせていただくことができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

教職員として、生徒とともに剣道を通して成長をできるよう、努力していきたいと思っています。今後ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



全日本選手権大会出場にあたって

平成18年度卒業 錬士六段 笠原 孝輔

昨年、大阪府で行われました全日本剣道選手権大会に三重県代表として六度目の出場をさせて頂きました。今回こそは上位入賞をという気持ちで臨みましたが、力不足にて一回戦で大阪代表の選手に敗退となりました。初めての大阪府開催となった本大会は、日本武道館とはまた違った雰囲気と緊張感があり、新鮮な気持ちで

試合をすることができました。結果を出すことはできませんでしたが、今後の剣道人生の糧となる良い経験ができたと感じております。

私が初めて全日本剣道選手権大会に出場したのは 30 歳の時です。遅咲きではございますが、大学時代はもちろん、卒業後も多くの先生方にお世話になり成長することができました。結果を出せず心が折れそうになることも多々ありましたが、大学時代の仲間や同僚などに助けられ、ここまで続けることができました。改めて振り返ってみると本当に多くの人に支えられて自分は成長しているのだと実感しており感謝の気持ちでいっぱいです。

来年は三重県で「三重とこわか国体」が開催されます。三重県の代表として本国体に出場し「優勝」という結果を残すことを目標に、ますます稽古に励みたいと思っております。

末尾となりましたが、これからも感謝の気持ちを忘れずに精進してまいりますので、変わらぬご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



全日本選手権大会出場にあたって

平成 23 年度卒 五段 栗本 匠

令和元年 11 月 3 日、丸善インテックアリーナ（大阪市中央体育館）において行われました、第 67 回全日本剣道選手権大会に岐阜県代表として、初めて出場させて頂きました。今まで多くの偉大な先輩方が出場し活躍されており、私にとって憧れの目標とする大会でありました。その大会に出場することができたのはひとえに、林邦夫先生、堀山健治先生をはじめ中京大学剣道部の先輩方、後輩のお陰と感謝しております。

林先生や堀山先生より、在学時に「お前は不器用だ。でも不器用な者はできるようになるまで繰り返し稽古する。そうすることで必ず地力が付いて強くなる。」との言葉を頂き、その言葉を胸に、自分を信じて日々稽古に取り組んでまいりました。しかし結果は初戦で敗退し、非常に不甲斐なく悔しい思いをしました。その中でも、大会を通じて改めて学ぶことや感じたことが数多くありました。

この経験を糧とし、感謝の気持ちを忘れずに、目標に向かって一層精進してまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。



全日本選手権を終えて

平成24年度卒業 五段 金子 亮介

この度、大阪市中央体育館にて開催されました第67回全日本剣道選手権大会に出場させて頂きました。このように、剣道人として最高峰の大会に出場できたのも、今まで指導していただいた先生方や練習環境を作って頂いた職場、剣道連盟のおかげであり、深く感謝しております。

本大会には、初出場でありましたが、出場するからにはベスト8以上の成績を残すことができるよう準備し、自分の剣道を貫くこと、会場の雰囲気にもまれないことを念頭に置いて試合に臨みました。一回戦は、第一試合ということもあり、緊張する場面もありましたが、自分の剣道を貫いた結果、徳島県代表の大石選手に面を決めて勝利することができました。二回戦では、大阪府代表の前田選手ということもあり、面技を警戒していましたが、間合いを詰めて誘ったところを面に乗られ、二回戦で敗退する結果に終わってしまいました。

試合を通じて、勝負する際の間合い、技を出す機会等に課題を感じましたので、今後自分の剣道を見つめ直し、来年はさらに上のステージで試合ができるよう精進していきたいと思いました。

最後になりますが、林邦夫先生をはじめ堀山健治先生、応援して下さった多くの先生方に厚く御礼申し上げます。

<2019年度先輩方の活躍…>

第67回 全日本都道府県対抗剣道優勝大会

三重県	伊藤慎一郎	先輩 (28)	創徳中学校 (教)	優勝
愛知県	海野 祐介	先輩 (28)	名古屋刑務所	
	村瀬 直樹	先輩 (30)	中京大学 (教)	
	倉成 健治	先輩 (56)	愛知県警察	
静岡県	塚本 光	先輩 (24)	J R東海	
	菊池 竜平	先輩 (31)	池新田高等学校 (教)	
	竹内 功	先輩 (52)	静岡県警察	
岐阜県	樹下 和央	先輩 (36)	岐阜県警察	
島根県	原 勇輝	先輩 (38)	松江刑務所	

令和元年度 全国矯正職員武道大会 剣道大会

福岡県 海野 恭央 先輩 福岡拘置所 **優勝!!!**

第41回 全日本高齢者武道大会

長野県 小谷 洋子 先輩 (女性の部) **準優勝!!**

令和元年度 インターハイ剣道競技

茨城県	塚本 浩一	先輩	守谷高等学校	女子個人戦 優勝!!!
静岡県	檜下 大祐	先輩	吉原高等学校	
	菊池 竜平	先輩	池新田高等学校	
愛知県	大参 智美	先輩	星城高等学校	
	後藤沙也香	先輩	中部大学春日丘高等学校	
	遠山 絢子	先輩	同上	女子団体戦ベスト8
岐阜県	村瀬 智泰	先輩	郡上高等学校	
三重県	尾上 菜智	先輩	三重高等学校	
新潟県	藤塚 肇	先輩	五泉高等学校	女子団体戦 第3位 !
兵庫県	安藤 陽子	先輩	須磨学園高等学校	

令和元年度 第61回全国教職員剣道大会

静岡県	菊池 竜平	先輩 (H22年度卒)		
愛知県	山崎 嘉一	先輩 (H04年度卒)	那須田圭祐	先輩 (H30年度卒)
	遠山 絢子	先輩 (H27年度卒)	女子の部 第3位!	
岐阜県	杉田 龍彦	先輩 (S63年度卒)	長屋 貴則	先輩 (H26年度卒)
兵庫県	隠岐 安泰	先輩 (H24年度卒)		
	安藤 陽子	先輩 (H26年度卒)	女子の部 準優勝!!	
香川県	香川 直紀	先輩 (S62年度卒)		

令和元年度 全国中学校総合体育大会剣道競技

滋賀県	福岡 拓也	先輩	彦根市立東中学校
香川県	香川 直紀	先輩	香川市立龍雲中学校
高知県	平 知子	先輩	高知中学校

第 11 回 全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会

岐阜県	荻田	ひろ美	先輩（大将）教員	第 3 位！
和歌山県	林	美紀子	先輩（副将）教員	
香川県	森	静香	先輩（中堅）会社員	
	谷本	多代	先輩（大将）教員	

令和元年度 第 74 回国民体育大会

成年男子

栃木県	安良岡	修	先輩（大将）教員
愛知県	北村	真一	先輩（大将）愛知県警察
三重県	爪橋	智久	先輩（大将）三重県警察
	笠原	孝輔	先輩（中堅）三重県警察
静岡県	松井	修司	先輩（副将）会社員

成年女子

北海道	渡邊	恵美	先輩（中堅）教員
三重県	熊谷	帆波	先輩（中堅）団体職員
	西村	真美	先輩（大将）教員
和歌山県	林	美紀子	先輩（大将）教員

少年の部

茨城県	塚本	浩一	先輩	優勝監督
-----	----	----	----	-------------

第 51 回 全日本官公庁剣道大会

福岡県	海野	恭央	先輩	優勝！！！！
-----	----	----	----	---------------

第 67 回 全日本剣道選手権大会

三重県	笠原	孝輔	先輩	（6回目）
岐阜県	栗本	匠	先輩	（初出場）
福井県	金子	亮介	先輩	（初出場）

令和元年度 剣道 八段審査

埼玉県 城田 雅幸 先輩 (54) **合格！！！！**

令和元年度 第27回東海学連剣友会剣道大会

成年の部

優勝！！！！ 中京大学剣友会 先鋒 倉成 将寛 (24)
次鋒 田村隆太郎 (25)
中堅 海野 祐介 (29)
副将 村瀬 直樹 (31)
大将 東 隆也 (40)

熟年の部

優勝！！！！ 中京大学剣友会 先鋒 森園 昭俊 (54)
岐阜 中堅 杉田 龍彦 (54)
大将 吉田 則文 (65)

中京大学剣友会 先鋒 中村 隆信 (52)
中堅 白石 裕章 (62)
大将 田中 浩二 (67)

女子の部

優勝！！！！ 中京大学A 先鋒 後藤 美織 (23)
中堅 後藤沙也香 (25)
大将 佐藤 千早 (41)

第3位！ 中京大学B 先鋒 片山 奈々 (24)
中堅 川崎 麻乃 (27)
大将 高松 真澄 (41)

< 剣聖旗剣道大会… >

◇ 第九回全国選抜高等学校剣道大会

男子は東洋大姫路高等学校（兵庫）が初優勝 女子は守谷高等学校（茨城）が七回目の優勝



◇ 第八回全国選抜中学校剣道大会

男女ともに東海大浦安中等部（千葉）が初優勝！



令和2年2月2日（日）、スカイホール豊田、メインホールで、全国各地から精鋭が集まり、高等学校の部では、男子 64 チーム、女子 53 チーム、また、中学の部では、男子 50 チーム、女子 26 チーム、選手合計約 1300 名が集い、熱戦が繰り広げられた。

前日の1日（土）には、同会場で錬成会と開会式が行われた。



開会式では筒井政行剣友会会長の挨拶の後、来賓祝辞と続き、中京大学スポーツ科学部教授、剣道部師範堀山健治八段による講話があった。「剣道は相手がいないとできない。剣道の出来る環境に感謝し、強い心、豊かな心を養ってほしい。」と選手たちに対する励ましのことばをいただき、今年度も大会がスタートした。なおこの大会は、中京大学剣友会が主催となり、学生、OBたちが中心となり、大会運営のすべてを行っている。

来年度は高等学校の部が10回大会を迎えることになる。申し込みは、11月頃に中京大学剣友会のHP <http://www.chukyo-kenyukai.com> に掲載され、書類をダウンロードし、参加申し込みが出来るようになっている。全国各地からの積極的な参加を広く求めている。

今年度大会結果は、次の通りである。

高等学校の部 〈男子の部〉

(準々決勝)

奈良大付属(奈良) 1-3 東洋大姫(兵庫)、三重(三重) 0-4 本庄第一(埼玉)、清風(大阪) 0-2 久御山(京都)、育英(兵庫) 2-1 玉島(岡山)

(準決勝)

東洋大姫路 3-2 本庄第一
久御山 0-1 育英



(決勝)

東洋大姫路 3代-3 育英 *優勝は、東洋大姫路高等学校(兵庫)

〈先鋒〉育英 泉が東洋大姫路 岡田の足が止まったところに出ばな面を決め先取。後半、岡田が泉の手元が上がった瞬間をとらえ小手を取り返す。そのまま時間がきて引き分け。

〈次鋒〉両者とも激しく打ち合い、惜しい技が何本か出るが決まらず。そのまま時間が過ぎ引き分け。

〈中堅〉両者思い切りのよい技を出し、フェイント技も入れ技の出し合いが続く。両者ともに惜しい技があったが決めきれず引き分け。

〈副将〉前半、東洋大姫路 塚副が攻めているように見えた。中盤、塚副が面に飛び込んだところ育英 川端がタイミングよく小手に合わせ一本。そのまま逃げ切り大将戦へ。

〈大将〉両者攻め合いが続くなか、育英 大抜の手元が浮いたところ東洋大姫路 鷲尾が小手を決める。この時点でチーム引き分け。そのまま一本勝ちで代表選へ。

〈代表戦〉両校大将同士での代表戦はどちらも一歩も譲らず5分経過。育英 大抜の足が一瞬止まったところ、鷲尾が見逃さず飛び込み面を決めた。東洋大姫路が見事、初優勝を飾った。

〈女子の部〉

(準々決勝)

守谷 (茨城) 1—0 桜丘 (愛知)、玉島 (岡山) 1—3 久御山 (京都)、本庄第一 (埼玉) 1—2 中京学院大中京 (岐阜)、東洋大姫路 (兵庫) 0—2 奈良大付属 (奈良)

(準決勝)

守谷 1 代—1 久御山

中京学院大中京 1 本—1 奈良大付属

(決勝)

守谷 2 代—2 奈良大付属 * 優勝は守谷高等学校 (茨城)

〈先鋒〉前半、両者一進一退の攻防が続く。中盤、中間になった瞬間、守谷 藤田が思い切った見事な突きを決めた。そのまま時間が過ぎ一本勝ち。

〈次鋒〉奈良大付属 木村は開始から技を積極的に出し、果敢に攻める。中盤、木村の思い切った面に守谷 是川は対応できず面あり。木村の一本勝ち。

〈中堅〉緊張した中での中堅戦は、両者勝ちを掴みにいく気持ちが観客に伝わる気迫の試合。守谷今村は奈良大付属 辻田の体勢が崩れたところを見逃さず面を決め一本勝ちでチームをつないだ。

〈副将〉奈良大付属が追いかける形での副将戦は、終盤、奈良大付属 川合が鏝ぜり合いから一瞬の隙をとらえ、引き面を決めた。これで本数勝数ともに同点になった。

〈大将〉両者どちらも譲らないが慎重な攻防が続く。決定打になる一本はないまま代表選になった。

〈代表戦〉両校大将同士での代表戦は前半、どちらも譲らない攻め合いが続く。中盤、守谷小川の小手が突破口となり、根本の手元が上がった瞬間、やはり小手を決め、守谷の七回目の優勝となった。

中学校 〈男子の部〉

(準々決勝)

武徳館剣道教室 (愛知) 1—3 東海大浦安中 (千葉)、東丘少年剣友会 (愛知) 1—3 神戸剣誠会 (兵庫)、福島勇武館 (福井) 3—2 磐田東中 (静岡)、久田剣道場 (愛知) 0—3 洗心道場 (愛知)

(準決勝)

東海大浦安中 2 本—2 神戸剣誠会

福島勇武館 1—2 洗心道場

(決勝)

東海大浦安中 2 本—2 洗心道場 * 優勝は東海大浦安中等部 (千葉)

〈先鋒〉前半は膠着した試合が続く。終盤、東海大浦安中 山口が間合いを詰めて面を打ったのに対し、洗心道場 加藤が相面に乗り一本取得。

〈次鋒〉互いに惜しい技が出るが、決めきれず、その後は膠着した試合となり引き分け。

〈中堅〉一本取り返したい東海大浦安中は前半、小林が積極的に攻めるが、終盤、洗心道場 大町が鏝競争り合いから引き面を決めた。一本勝ちで副将戦へ。

〈副将〉序盤、東海大浦安中 藤岡が洗心道場 里脇が飛込み面に出たところを相面に乗り、一本先

取。その後は膠着した試合が続き一本勝ちのまま終了。

〈大将〉洗心道場が一步リードでの大将戦。東海大浦安中 阿部は果敢に攻めていき、洗心道場 池田の小手に対し抜き面で一本先取。その後、立て続けに飛込小手を決め二本勝ち。東海大浦安中の逆転優勝となった。

〈女子の部〉

〈準々決勝〉

森町剣友会（北海道）3—1 本庄第一中（埼玉）、小松桜木剣正会（石川）0—5 日体大桜花中（東京）、東海大浦安中（千葉）3—1 東レ居敬堂（愛知）、発心会（愛知）1—3 結城尚武館牧野塾（茨城）

〈準決勝〉

森町剣友会 1—3 日体大桜花中

東海大浦安中 3—1 結城尚武館牧野塾（茨城）

〈決勝〉

日体大桜花中 2—3 東海大浦安中 *優勝は東海大浦安中等部（千葉）

〈先鋒〉両者ともチームに勢いをもたらす気迫だった。日体大桜花中 村田は鏝競り合いから一瞬の隙をつき、引き面を先取。後半再び村田が引き面を決め二本勝ち。

〈次鋒〉東海大浦安中 中村は日体大桜花中 大越が間合いに入ったところに出鼻面を決め、チームの流れを変えた。そのまま一本勝ちで中堅戦につなぐ。

〈中堅〉どちらも負けられない中、日体大桜花 大越は東海大浦安中 中平の面を引き出し、見事な返し胴を決めた。そのまま時間が過ぎ一本勝ち。

〈副将〉負けられない東海大浦安中 山下は開始から積極的に攻め続け日体大桜花中 橋本を引き出しタイミングを合わせ、出頭の小手を決め大将へ繋いだ。

〈大将〉日体大桜花中が一本リードでの大将戦。東海大浦安中 大槻は積極的に攻める。日体大桜花中 時任が居ついたところを追い込んで飛込み面を決める。その後激しい時任の攻めをかわし一本勝ちで試合終了。東海大浦安中の優勝となった。

（文責：大会実行委員会）





令和元年度 剣聖旗剣道大会 講評

審判長 昭和 55 年度卒業 教士八段 山 村 勝 弘

今年もスカイホール豊田で剣聖旗大会が盛大に開催され、各試合場で熱戦が繰り広げられました。高校決勝戦は男女とも代表戦となる接戦で、男子は兵庫県 東洋大学姫路高校（初優勝）、女子は茨城県 守谷高校（3連覇、7度目の優勝）。中学校の試合を制したのは、男女ともに千葉県 東海大学浦安高等学校中等部（初優勝）でした。

優勝したチームの皆さんをはじめ入賞したチームの皆さんにはお祝いを申し上げますとともに、惜しくも入賞は逸しましたが、終始奮闘された皆さんにも拍手を送ります。また本大会にご尽力をいただいた関係者の皆様、審判員の先生方、会場に足を運んでいただいた皆様には心より感謝とお礼を申し上げます。

参加されたすべてのチームは、厳しい稽古を積み重ね大会に臨んだことと思いますが、どの大会でも試合になると「左手が上がり受けから入る」「有効打突にならない中途半端な技の応酬」がよく見受けられます。「日本剣道に受けはない！」ということ肝に銘じて、捨てきった打突、思い切った技を駆使して攻める積極的な試合で力をつけてください。

「力をつける」「上達する」には多くの稽古を継続していくことが非常に大切です。宮本武蔵の「五輪書」には「千日の稽古を鍛とし 万日の稽古を錬とす」とあります。上達、成長は稽古の数次第だという意味で、宮本武蔵の「五輪書 水の巻」の最後に出てくる言葉です。毎日稽古して千日は約 3 年、万日で約 27 年かかります。弛まぬ修業が大切ということです。

宮本武蔵は佐々木小次郎との巖流島での決闘で有名な江戸時代初期の剣術家、兵法家ですが、二刀を用いる「二天一流」兵法の開祖としても知られています。13 歳から 60 回の決闘を行い、一度も負けていないという伝説もあります。そのような武蔵が、稽古を続けることの大切さを説いています。稽古には苦痛が伴うものですが、その苦痛によってフツと逃げたい気持ちが生じてきます。それを断ち切ることで、結果として苦痛よりももっと大きな喜び、楽しみが得られます。「ああ、よかった！」となるでしょう。本当の喜びとはここにあると思います。後悔しないようにしっかりと稽古に取り組んでください。

終わりに、大会実行委員長の話にもありましたが、来年は第 10 回の記念大会であります。盛大に開催するためには多くの方々のご協力、ご支援が必要です。多くの皆様にご参加いただくことで、素晴らしい大会が開催できるよう御協力の程をお願い申し上げます。来年の記念大会がより盛り上がり成功することを祈念いたしまして講評とさせていただきます。

<剣友会総会報告…>

令和2年2月1日(土)17:00~名鉄トヨタホテルにて剣友会総会が行われました。

約30名の先輩方にご出席いただき、令和元年度の事業、会計報告を行い、令和2年度の事業計画、予算案。さらに会則の改定についてご審議いただき、すべてお認め頂きました。

また、今年度は役員改選の年でしたので、第20期の役員も併せてご承認いただきました。新たに、役員になられた先輩方、よろしくお願ひいたします。

(資料のお名前が色付きの先輩方が新役員としてお認め頂いた先輩方です)

会の資料は以下の通りです。

<第20期 剣友会役員>

会 長	筒井政行	(52)						
副 会 長	白石裕章	(54)	内田信之	(58)				
顧 問	水谷好助	(36)	内田武夫	(37)	林 邦夫	(42)	石黒峰司	(45)
	小山 哲	(45)	堀山健治	(50)	鷺見勝博	(54)		
参 与	伊藤武年	(35)	近藤勁助	(35)	川口正人	(37)	細田隼郎	(37)
	大藪 正	(41)						
幹 事 長	田中勝明	(63)						
副幹事長	青山光加	(60)						
幹 事	寺坂達夫	(49)	村山啓三	(50)	二橋高弘	(53)	遠山英樹	(53)
	森 健志	(55)	山村勝弘	(55)	石川浩二	(58)	北村真一	(58)
	倉成健治	(59)	島崎裕樹	(60)	杉田龍彦	(61)	中村隆信	(63)
	森園昭俊	(63)	加賀真琴	(H12)	木谷佳恵	(H15)	森部康二郎	(H17)
	海野祐介	(H24)	長谷川拓哉	(H24)	服部篤紀	(H24)	安部智子	(H26)
	川崎麻乃	(H26)	桂川侑也	(H30)				
事 務 局	山崎嘉一	(H04)	村瀬直樹	(H22)	那須田圭祐	(H29)		
監 査	下村直樹	(61)	石原たまみ	(H01)				

敬称略

* 本役員は令和2年2月中京大学剣友会第38回総会にて承認し、任期は中京大学剣友会会則第8条に則し

令和2年4月1日から令和4年3月31日までの2年間とする。

附則役員

支部役員

	支部長	副支部長	事務局
北海道	高井雄一 (50)		渡邊恵美
茨城	塚本浩一 (58)		中村裕一 (H06)
静岡	黒木正之 (51)		杉浦章弘 (H10)
愛知	石川浩二 (58)		服部篤紀 (H24)
近畿	石丸俊武	小西正之 (50)	徳永智美 (H02)
大阪	山村和弘	西ノ原 誠	山下秀一
佐賀	石丸英文 (47)		勝屋弘善 (58)
鹿児島	俣木正喜		諏訪正一 (54)

学年代表	近藤勁助 (35)	水谷好助 (36)	西田忠幸 (37)	水口 勲 (38)
	平松直之 (40)	山本紘司 (41)	林 邦夫 (42)	竹内 修 (43)
	鈴木博紀 (44)	石黒峰司 (45)	名和勤武 (46)	小柳好直 (47)
	田中浩二 (48)	寺坂達夫 (49)	堀山健治 (50)	黒木正之 (51)
	筒井政行 (52)	尾上芳彦 (53)	平瀬尋規 (54)	森 健志 (55)
	渡邊 宏 (56)	浜野智浩 (57)	内田信之 (58)	寺園光則 (59)
	島崎裕樹 (60)	杉田龍彦 (61)	森川政人 (62)	田中勝明 (63)
	桂川 学 (H1)	馬場 隆 (H2)	近本 彰 (H3)	藤嶋直也 (H4)
	川口尚記 (H5)	柳沢正人 (H6)	松井修司 (H7)	太田憲孝 (H8)
	井出智也 (H9)	大藪誠士 (H10)	谷岡憲太郎 (H11)	杉浦弘恭 (H12)
	東 隆也 (H13)	鈴木佳規 (H14)	梅村明宏 (H15)	日置章充 (H16)
	栗山貴行 (H17)	日置康紀 (H18)	二橋光哉 (H19)	中尾 聡 (H20)
	福岡拓弥 (H21)	村瀬直樹 (H22)	栗本 巧 (H23)	海野祐介 (H24)
	久留宮翔輝 (H25)	青木匡肇 (H26)	田村隆太郎 (H27)	塚本 光 (H28)
	那須田圭祐 (H29)	桂川侑也 (H30)	福島快成 (R1)	

敬称略

* 名簿 () 内の数字は卒業年度を示す (ローマ字表記は元号の頭文字 数字のみは昭和)

<報告事項>

① 令和元年度 剣友会事業報告

1 剣友会主催行事・事業

①	第37回 剣友会総会	2月9日
②	新会員入会式	2月9日
③	剣友会事業・剣聖旗全国選抜剣道大会開催	2月9日～10日
④	全国高等学校剣道選抜大会 出場校 激励	3月26日～28日
⑤	剣友会誌(尊聞行知)31号発行	4月1日
⑥	東海学連OB大会 協賛	12月15日
⑦	剣友会役員会・剣聖旗準備委員会	12月26日 10月5日
⑧	稽古会	毎週土曜日

2 剣道部後援事業

①	春季全員合宿 (愛知県・蒲郡武道館)	2月18日～22日
②	卒業生送別会 (名鉄トヨタホテル)	3月18日
③	西日本学生剣道大会 (久留米アリーナ)	5月25日～26日
④	全日本学生剣道選手権大会(エディオンアリーナ大阪)	6月29日～30日
	全日本女子学生剣道選手権大会(同上)	同 上
⑤	選手強化合宿(関東遠征 明治・早稲田・東海・日本・立教)	8月26日～29日
⑥	全日本学生剣道優勝大会(千葉ポートアリーナ)	10月27日
⑦	全日本女子学生剣道優勝大会(春日井市総合体育館)	11月10日

② 令和元年度 一般会計報告

1) 収入の部

摘要	予算案	金額	備考
1 前年度繰越金	1,224,640	1,224,640	
2 年会費	250,000	455,000	91名分
3 支部会費	100,000	210,000	北海道・茨城・佐賀・関西
4 新会員入会費・年会費	140,000	140,000	H30年度卒業生14人分
5 雑収入	0	46,527	記念品代残金
6 利息	10	11	銀行利息
7 寄付	0	0	
合計	1,714,650	2,076,178	

2) 支出の部

摘要	予算案	金額	備考
1 会議費			
総会費	20,000	20,000	2月9日
剣友会役員会・剣聖旗準備委員会	50,000	26,000	10月6日 12月26日
2 事業費			
① 剣友会主催行事・事業			
剣聖旗大会	50,000	50,000	2月9日～10日
新会員入会式	50,000	50,000	2月9日
剣友会誌発行	10,000	0	4月1日
東海学連OB大会 協賛金・登録費	25,000	25,000	12月15日
稽古会	10,000	0	
② 剣道部後援事業			
春季合宿	100,000	100,000	2月18日～22日
卒業生送別会	100,000	100,000	3月18日
西日本大会	50,000	50,000	5月25日～26日
全日本学生・女子学生選手権	50,000	50,000	6月29日～30日
選手強化合宿	50,000	50,000	8月26日～29日
全日本学生優勝大会	50,000	50,000	10月27日
全日本女子学生優勝大会	50,000	50,000	11月10日
3 慶弔費	100,000	0	
4 通信費	200,000	5,040	役員会等案内
		144,597	平成30年度総会案内発送分(振込手数料込)
		1,240	総会案内再送分
5 事務費	100,000	6,918	事務用品等
6 全国高校剣道選抜大会激励費	40,000	30,000	OB選抜出場校激励費(6校)
7 予備費	549,650	164,000	懇親会費補填
		1,810	総会費補填(会場費消費税、コピー代金)
8 事務局費	60,000	60,000	
合計	1,714,650	1,034,605	
収支合計		1,041,573	令和2年度へ繰越

上記のとおり、令和元年度中京大学剣友会会計の決算報告をいたします

令和2年 1月 8日 会計 山崎 嘉一

監査の結果、正確であったことを認めます

令和2年 1月 9日 監事 下村 直樹

石原 たまみ

審議事項

① 令和2年度 事業計画案

剣友会行事・事業

- | | |
|------------------------------|----------|
| 1 第38回剣友会総会 | 2月1日 |
| 2 城田雅幸先輩 八段授与 | |
| 塚本浩一先輩・伊藤慎一郎先輩・海野恭央先輩 全国大会優勝 | 各祝賀会 |
| | 2月1日 |
| 3 新会員入会式 | 2月1日 |
| 4 剣聖旗全国選抜剣道大会 | 2月1, 2日 |
| 5 全国高校剣道選抜大会 出場校激励 | 3月26～28日 |
| 6 剣友会誌32号発行 | 4月1日 |
| 7 東海学連OB大会 協賛 | 12月 |
| 8 稽古会 | 毎週土曜日 |
| 9 剣友会役員会・剣聖旗準備委員会 | 年各1回 |

剣道部後援事業

- | | |
|-------------------|-----|
| 1 春季合宿 | 2月 |
| 2 卒業生送別会 | 3月 |
| 3 西日本大会 | 5月 |
| 4 全日本学生・女子学生選手権大会 | 7月 |
| 5 選手強化合宿 | 8月 |
| 6 全日本学生優勝大会 | 10月 |
| 7 全日本女子学生優勝大会 | 11月 |
| 8 その他剣道部にかかわる行事 | |

② 令和2年度 予算案

令和2(2020)年1月1日～同年12月31日
会計 山崎 嘉一

1) 収入の部

摘要	金額	備考
1 前年度繰越金	1,041,573	
2 年会費	250,000	50名分
3 支部会費	200,000	茨城、佐賀、静岡、近畿、北海道
4 新会員入会費・年会費	190,000	R元年度卒業生 19人分
5 雑収入	0	
6 利息	10	銀行利息
7 寄付	0	
合計	1,681,583	

2) 支出の部

摘要	予算案	備考
1 会議費		
総会費	25,000	2月1日
役員会費・剣聖旗準備委員会	50,000	10月 12月
2 事業費		
① 剣友会主催行事・事業		
剣聖旗大会	50,000	2月1日 2日
新会員入会式	50,000	2月1日
剣友会誌発行	10,000	4月1日
東海学連OB大会協賛金・登録費	25,000	12月
稽古会	10,000	
② 剣道部後援事業		
春季合宿	100,000	2月
卒業生送別会	100,000	3月
西日本大会	50,000	5月
全日本学生・女子学生選手権	50,000	7月
選手強化合宿	50,000	8月
全日本学生優勝大会	50,000	10月
全日本女子学生優勝大会	50,000	11月
3 慶弔費	100,000	
4 通信費	200,000	
5 事務費	100,000	
6 全国高校剣道選抜大会激励費	40,000	OB指導校選抜出場激励費
7 予備費	471,583	
8 事務局費	100,000	事務局手当
合計	1,681,583	
収支合計	0	

令和元年度 剣友会新会員

氏名	役職	出身校	進路先
1 高松 詩郎	主将	札幌日大	刑務官(北海道)
2 森田 啓介	副主将	磐田西	企業(静岡県内)
3 石川 靖人	副主将	東海大相模	神奈川県警察
4 高尾 純	道場長	静岡市立	静岡県警察
5 内山 有希		高山西	警察官志望
6 加藤 啓太		奈良大附属	企業(愛知県内)
7 福山 辰徳		星城	刑務官(愛知県)
8 伊吹 公志		洛陽工業	未定
9 倉本 浩汰	学連	小倉	公務員(福岡県)
10 吉富 尋仁		愛工大名電	教員志望(愛知県)
11 水野 智仁		榛原	公務員(静岡県)
12 平井 文徳		清風	大阪府警察
13 福島 快成	主務	中京大中京	教員志望(愛知県)
14 本村 礼奈	主将	岡崎城西	一般企業(アド・ダイセン)
15 畝本 莉奈	副主将	東海大相模	刑務官
16 飯田 汐		磐田西	教員志望(静岡県)
17 松井 苗	主務	桜丘	一般企業(パナソニックデバイスSUNX)
18 橋本 由希		大阪国際大大和田	一般企業(ANAエアポートサービス)
19 伊藤 穂乃花		中京学院大中京	一般企業(名古屋鉄道株式会社)

<年会費振込のお願い…>

2020年度の年会費「5000円」を未納の先輩方は

下記口座までお振込みいただきますようご協力お願いいたします。

名古屋銀行 豊田浄水支店 店番号 249
普通口座 3372854
口座名義 中京大学剣友会 代表 堀山健治

<支部代表、事務局の先輩へ…>

支部を運営されています代表の先輩はお手数ですが名簿を事務局までご報告ください。

Tel・Mail 等で事務局 山崎までご連絡いただければ、書式を添付 Mail にてお送りいたします。